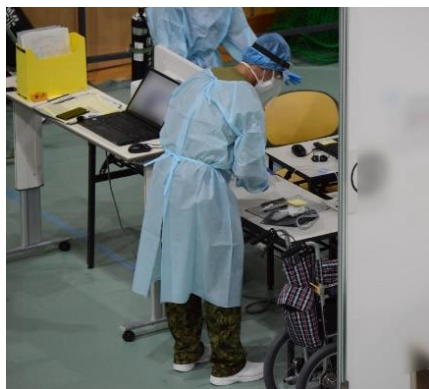


- 概要
- 沖縄県における新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療体制がひっ迫。沖縄県は、全国知事会等に看護師等の派遣を依頼するなどしているが、全国的に感染者が急増しており、看護師等の早急な確保が困難な状況。
 - 8月12日(木) 0933、陸上自衛隊第15旅団長(那覇駐屯地)は、**沖縄県知事からの入院待機ステーション※における医療支援に係る災害派遣要請を受理。**
 - **沖縄県における感染拡大が続いている状況にあり、さらに医療体制を強化・拡充する必要があるところ、引き続き看護師等の確保が急務。**
 - 8月25日(水) 1137、陸上自衛隊第15旅団長は、**沖縄県知事からの入院待機ステーションにおける医療支援の派遣期間延長に係る要請を受理。**

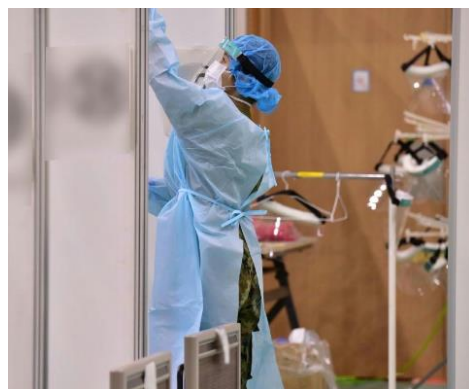
※自宅療養者等の入院調整に時間を要する事態が想定されることから、入院調整が整うまでの間、患者が一時的に待機する施設

- 活動内容
- 入院待機ステーションにおける医療支援(医師の診療の補助、検温、血圧測定、生体監視装置の装着、モニタリング等)(レッドゾーンでの看護業務を含む)。
活動期間：8月12日(木)から9月8日(水)
活動部隊：8月12日(木)から8月25日(水)【陸上自衛隊第15旅団：5名(看護官1名、准看護師4名)】
8月26日(木)から9月8日(水)【陸上自衛隊第8師団：5名(看護官1名、准看護師4名)】
 - 活動にあたっては、これまでの活動実績を踏まえた感染防護策を徹底。

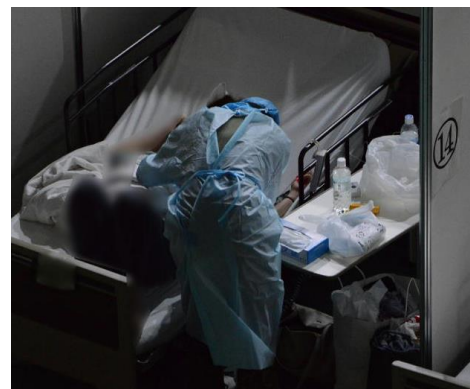
活動写真



器材準備



点滴準備



バイタルチェック



患者の受入れ